

ガイガーカウンタ

ガイガーカウンタ がいがーかうんた

1928年にガイガーとミュラーが作った簡単な構造の放射線測定器。GMカウンタともいう。円筒電極の中に細い中心電極を張った二極管に、Ar、He等の不活性気体と少量のアルコールまたはハロゲンガスを封入したもの。両極間に高電圧をかけておくと、放射線が管内に入射したときに、生成したイオンが引き金になって放電が起る。したがって一定時間内の放電（パルス）の回数を数えることによって放射線の強さを測定することができる。 γ 線及び β 線の測定に用いられる。感度はよいが比例計数管と異り入射粒子エネルギーに出力信号が比例しないので、エネルギーによる弁別はできない。

<登録年月>

1998年01月
